

煙の発生

煙が立ち込めています これ以上入れません



煙が立ち込めています これ以上入れません



解説

火災による死傷者の原因の多くは「煙」によるものです。
煙の中には様々な有毒成分が含まれています。
その中でも最も危険な有毒ガス「一酸化炭素」を吸い込んでしまうと軽い中毒症状であれば頭痛、めまい、吐き気などが発生し、高濃度であれば自覚症状を感じることなく昏睡状態に至ります。
煙は横方向には人の歩くスピードで動きますが垂直方向には秒速3から5mとなり、人の走るスピードよりも遥かに速いものとなります

防火扉

この前へ物を
置かないでください。

防火扉には「くぐり戸」が設置されている場合があります



防火扉には「くぐり戸」が設置されている場合があります



解説

「防火扉」の役割は火災が起きた時に火災の延焼や煙・ガスの広がりを防止する役割を担っています。防火扉の種類は2種類あります。

①常時閉鎖式

人が通るときだけ開くもので大きく開いても自動的に閉まります。

火災時でも普通の扉として使用できます。

②随時閉鎖式

手動若しくは煙に反応して自動的に扉が閉まります。

火災時は扉が閉まりますが、一回り小さい「くぐり戸」が取り付けられている場合があります。通行することが可能です。

階段通行不可



階段に物が置かれているため避難できません



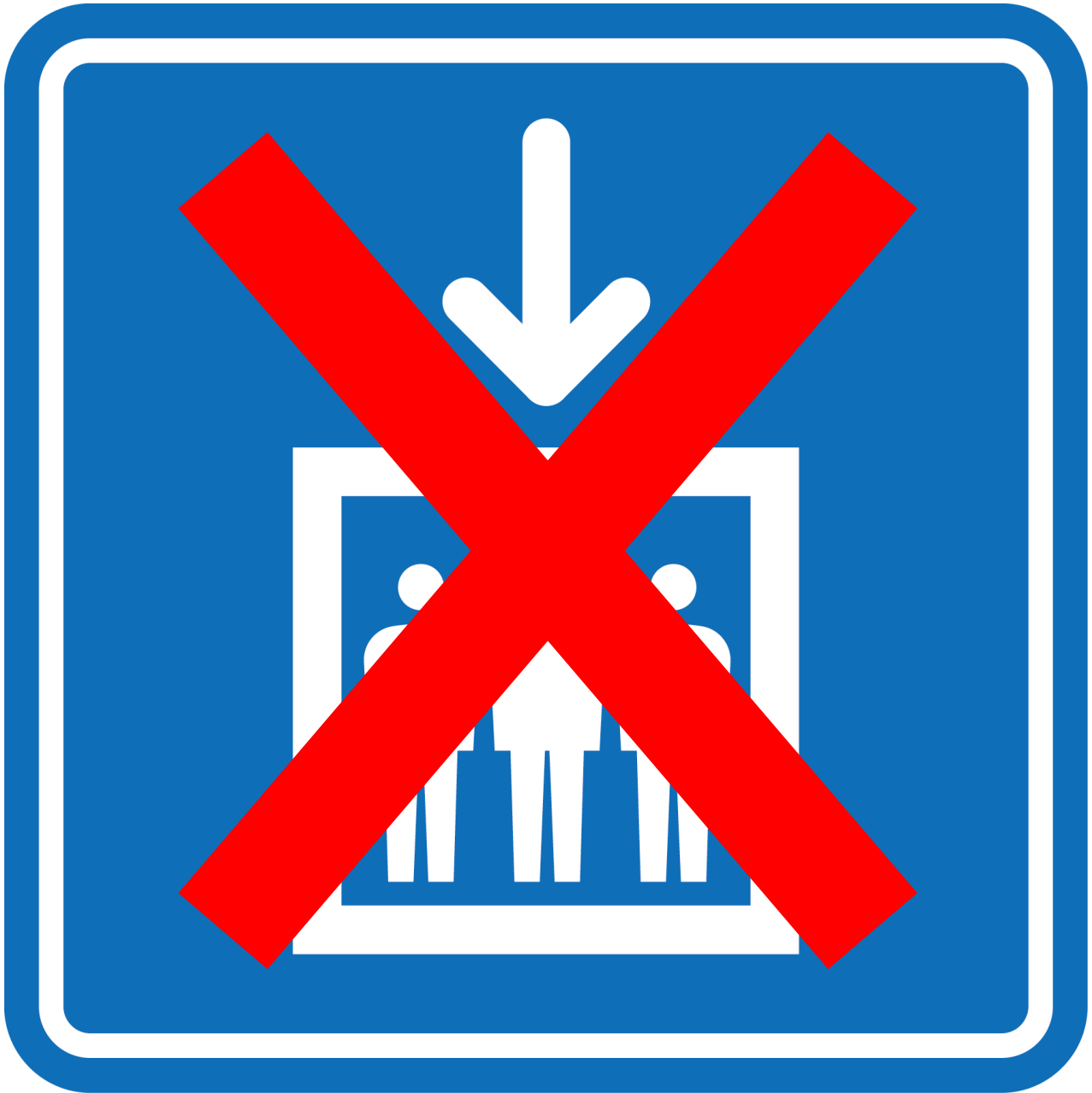
階段に物が置かれているため避難できません



解説

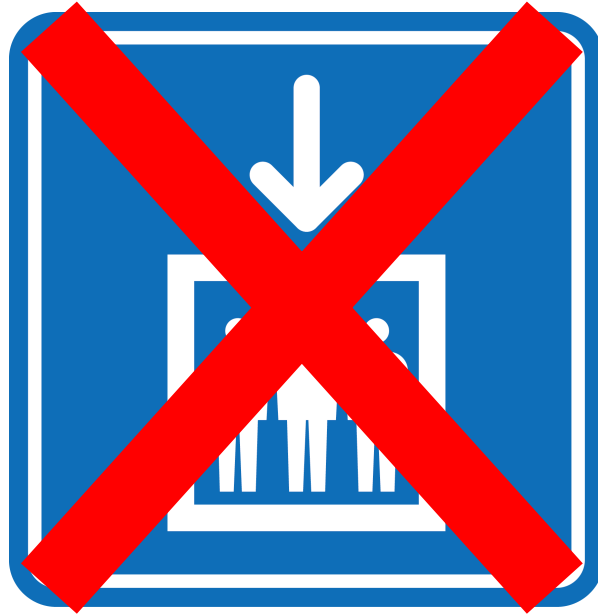
階段は重要な避難経路となります。
物を置くことで避難の障害となりますので荷物は置かないようにしましょう。

エレベーター使用不能



火災に伴う停電で閉じ込めが発生する可能性があるため
使用不可

エレベーター使用不能



火災に伴う停電で閉じ込めが発生する可能性があるため 使用不可



解説

最近のエレベーターは安全装置が設置されていますが閉じ込められる可能性があるため使用はせず、他の避難経路を使用しましょう。

ドアが施錠されています



ドアが施錠されています。中に人がいるかもしれません

ドアが施錠されています



ドアが施錠されています。中に人がいるかもしれません



解説

中に人がいるかもしれません。
火災時には人がどこにいるか分かりません。
すべての部屋を確認して逃げ遅れのないようにしましょう